

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第1区分
【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公開番号】特開2019-209309(P2019-209309A)
【公開日】令和1年12月12日(2019.12.12)
【年通号数】公開・登録公報2019-050
【出願番号】特願2018-110641(P2018-110641)
【国際特許分類】

B 0 1 D 53/26 (2006.01)

【F I】

B 0 1 D 53/26 2 3 0

【手続補正書】

【提出日】令和3年6月8日(2021.6.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項4】

前記乾燥剤から前記コンプレッサとは反対側に出力される空気の流れを許容する下流チェックバルブと、

前記下流チェックバルブに並列な通路の途中に設けられた再生制御弁とを備え、

前記制御装置は、前記再生制御弁の開弁/閉弁を切り替えることが可能であり、

前記第1の電磁弁が駆動されているとともに、前記第2の電磁弁が前記ドレン排出弁を操作して前記分岐通路を封止させているとき、前記再生制御弁を所定の期間だけ開弁させる

請求項1～3のいずれか一項に記載の空気供給システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項7】

前記制御装置は、前記第1の電磁弁が駆動されているとき、

前記第2の電磁弁が前記ドレン排出弁を操作して前記分岐通路を封止するとともに前記再生制御弁を閉弁させるページ無し処理と、

前記第2の電磁弁が前記ドレン排出弁を操作して前記分岐通路を開放させるとともに前記再生制御弁を閉弁させるページ処理と、

前記第2の電磁弁が前記ドレン排出弁を操作して前記分岐通路を開放させるとともに前記再生制御弁を開弁させる再生処理と、

前記第2の電磁弁が前記ドレン排出弁を操作して前記分岐通路を封止するとともに前記再生制御弁を開弁させる与圧処理とを備える

請求項4～6のいずれか一項に記載の空気供給システム。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 8】

前記制御装置は、前記接続通路内の空気圧が所定の値に維持されるように、前記パーズ無し処理と、前記パーズ処理と、前記与圧処理とのいずれか1つを選択して実行する調整工程を備える

請求項7に記載の空気供給システム。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

好ましい構成として、前記乾燥剤から前記コンプレッサとは反対側に出力される空気の流れを許容する下流チェックバルブと、前記下流チェックバルブに並列な通路の途中に設けられた再生制御弁とを備え、前記制御装置は、前記再生制御弁の開弁/閉弁を切り替えることが可能であり、前記第1の電磁弁が駆動されているとともに、前記第2の電磁弁が前記ドレン排出弁を操作して前記分岐通路を封止させているとき、前記再生制御弁を所定の期間だけ開弁させる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

好ましい構成として、前記制御装置は、前記第1の電磁弁が駆動されているとき、前記第2の電磁弁が前記ドレン排出弁を操作して前記分岐通路を封止するとともに前記再生制御弁を閉弁させるパーズ無し処理と、前記第2の電磁弁が前記ドレン排出弁を操作して前記分岐通路を開放させるとともに前記再生制御弁を閉弁させるパーズ処理と、前記第2の電磁弁が前記ドレン排出弁を操作して前記分岐通路を開放させるとともに前記再生制御弁を開弁させる再生処理と、前記第2の電磁弁が前記ドレン排出弁を操作して前記分岐通路を封止するとともに前記再生制御弁を開弁させる与圧処理とを備える。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

このような構成によれば、第1の電磁弁が駆動されているとき、パーズ無し処理と、パーズ処理と、再生処理と、与圧処理とを適時行うことができるようになる。

好ましい構成として、前記制御装置は、前記接続通路内の空気圧や乾燥剤中の空気圧が所定の値に維持されるように、前記パーズ無し処理と、前記パーズ処理と、前記与圧処理とのいずれか1つを選択して実行する調整機能を備える。